

この度は、当社の商品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。この商品を末永く安全にご使用いただくために、この取り扱い、組立て説明書をよくお読みいただき内容をよくご理解した上で、正しく組立て、ご使用いただけるようお願い致します。また取り扱い、組立て説明書は、必要に応じていつでも見られるよう、大切に保管してください。

組立の際のご注意

- 安全に組み立てるために、手袋や軍手を着用し2人以上の組み立てをお薦めします。
- 組立場所（十分広い平らな場所）を確保し、本体や床などに傷が付かないように必ず毛布やカーペットの上で組み立ててください。
- 組み立てる前に部品の数量を確認し、部品は正確に取り付けて下さい。
- ネジやボルトは最初に緩めをしておき、最後に全体のバランスを見ながらしっかりと締めて下さい。
最初からネジをきつく締めると他のネジ穴の位置が合わず、組み立てできません。
また全体の歪みの原因になります。
- ネジの大きさに合ったドライバーをご利用下さい。大きさの合わないドライバーでは力の無駄が大きく、部品の破損に繋がります。（該当商品のみ）
- 組み立ての順番を守らないと、組み立てができなくなったり、商品破損の原因になります。
- 個人差により、木材の接着剤等に含まれる物質（ホルムアルデヒド）などでアレルギー症状を引き起こすことがあります。組立て時やご使用の際に充分換気をして下さい。時間が経過すれば徐々に軽減されます。
- サイドレールを取り付ける際は安全のため、上下垂直にしっかりと装着し組み立てて下さい。
- 開き止め部材がある商品の場合、サイドレールが開かないように固定する大事な部品です。
装着しないとスノコが落下しケガの原因となりますので必ずご使用下さい。
- スノコが確実にサイドレールに配置されたか、充分お確かめ下さい。
- お子様のおられる環境では、思わぬケガや部品を誤飲する危険性がありますので充分にご注意下さい。
また、不要になった梱包資材はすぐに処分してください。特にビニール袋などは頭からかぶるなどした場合、窒息する恐れがあり非常に危険です。

ベットの置き方について

- 高温多湿の部屋では、空気が滞留するとカビやダニが発生しやすくなり、健康を害する事があります。
ベットの裏側も空気が流れるように、壁から少し離したり（5cm位が望ましい）部屋の換気をして下さい。
- 直射日光や熱、冷暖房器の強風など直接当たる場所は避けて下さい。変形・変色の原因になります。
- ベットは床面の平らな場所に水平になるように置いてください。変形やゆがみの原因となることがあります。
- 床面がフローリングや畳・クッションフロアなど、やわらかい材質の場合は敷物などを敷いて床面を保護されることをお薦めします。

本体の使用上の注意

- 本品は家庭用向けに製造しているため、業務用には使用しないで下さい。
- 本製品の上で飛び跳ねたり、踏み台として使用しないで下さい。また、一点加重をかけないで下さい。
ケガや破損の恐れがあります。特にお子様には充分ご注意下さい。
- 本製品の上に過度な荷重を加えないで下さい。フレームなどの破損、へこみ・変形の原因になります。
- ヘッドボード、フットボード、サイドボードの上に直接腰を掛けたり、乗ったりしないで下さい。ケガや破損の原因になります。

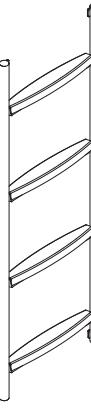
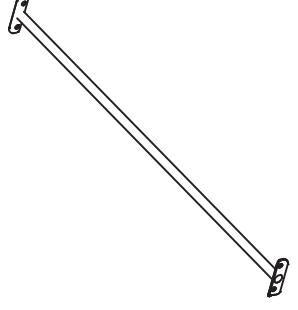
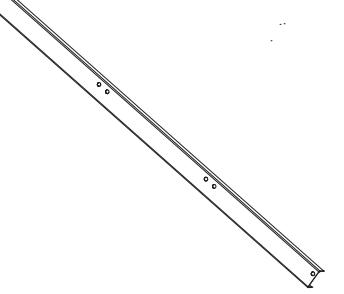
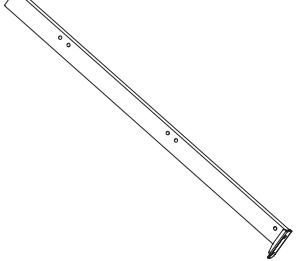
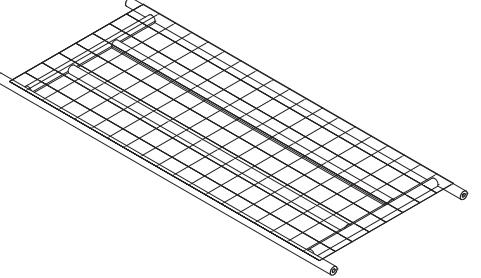
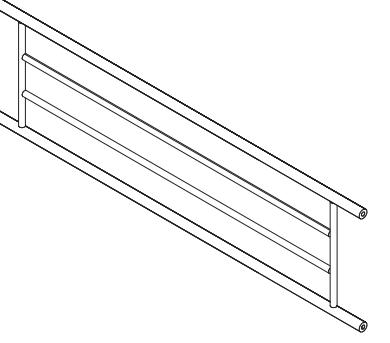
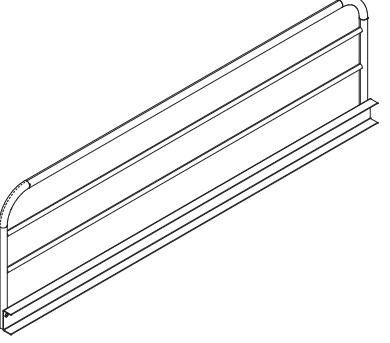
- 本製品の近くで暖房器具を使用しないで下さい。変形や破損また、火災の原因になる恐れがあります。
- 電化製品の電源コードをベットの下に踏まないようにして下さい。
コードが破損し感電や火災の原因になります。
- 照明器具が点灯している時は、器具に布団やシーツが触れないようにして下さい。
発熱による火災の原因になります。
- 濡れたものを載せないで下さい。カビや破損の原因になります。
- ベットの上での喫煙はおやめ下さい。火災の原因になる恐れがあります。
- セロハンテープやシールやラベルなどの粘着物を貼らないで下さい。はがす際に表面の化粧面がはがれる場合があります。
- ベットの設置場所の上部に落下物を置かないで下さい。地震時などに、ケガの原因になります。
- 移動する際は必ず全ての物を取り除いてから、引きずらないよう持ち上げて移動して下さい。
収納物や本製品の転倒、床面のキズ、破損・ケガの原因になります。
- 異常な搖れや音を感じたときは点検を実施し安全を確かめてください。
- 廃棄処分される場合は、お住いの条例に従い、不法投棄などしないようお願い致します。
- 耐荷重表示のある場合は、表示以上の荷重はかけないで下さい。破損の原因になります。
- 規定の使用人数以上でのご使用はお避け下さい。ケガや破損の原因になります。
- 本来の使用目的以外のご使用はおやめ下さい。
- 天災などの不可抗力や不当な修理、改造による故障・破損に対する補償などは致しかねます。
- ベットの素材が合成皮革（塩化ビニル）使用の場合、色移りする恐れがあります。ラッカー塗装に、合成皮革（塩化ビニル）素材に含まれる可塑剤の影響により家具の色を誘引する場合がありますのでご注意下さい。
また、ベットに置くものが合成皮革（塩化ビニル）の場合も同様です。その場合は何か敷くなどして下さい。

点検・お手入れについて

- 日常の汚れ、水分などは乾いた布で軽く拭いて下さい。著しい汚れの場合、水で薄めた中性洗剤で拭いた後に固く絞った布などで完全に洗剤部分を素早く拭きとて下さい。
- アルコール、除光液やベンジン、シンナー、漂白剤、磨き粉、化学ぞうきんなどの有機溶剤を含んだ布の使用は変色や色はげの原因となります。
- ネジ、金具類はゆるみやぐらつきがないか定期的に点検し、ゆるんでいる時はしっかり締め直して下さい。
- 虫害を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をして下さい。他から虫が入った事も考えられますので放置すると虫害が拡大する恐れがございます。
- 1年に数回はカビが生えないように、定期的に全ての収納物を取り出し、引出しがあれば引出しも拭いて通気を良くし、家具に溜まった湿気を取り除いて下さい。
- むやみに分解、改造しないで下さい。破損して重大なケガをする恐れがあります。

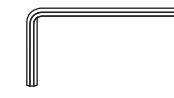
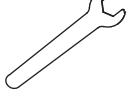
部品一覧

● 数量を確認しましょう。

①脚(穴あき)  ×8	②脚  ×4	③はしご  ×1
④横支えフレーム  ×2	⑤縦フレーム A  ×2	⑥縦フレーム B  ×8
⑦床フレーム  ×10	⑧横フレーム  ×4	⑨柵フレーム  ×2

部品一覧

●数量を確認しましょう。

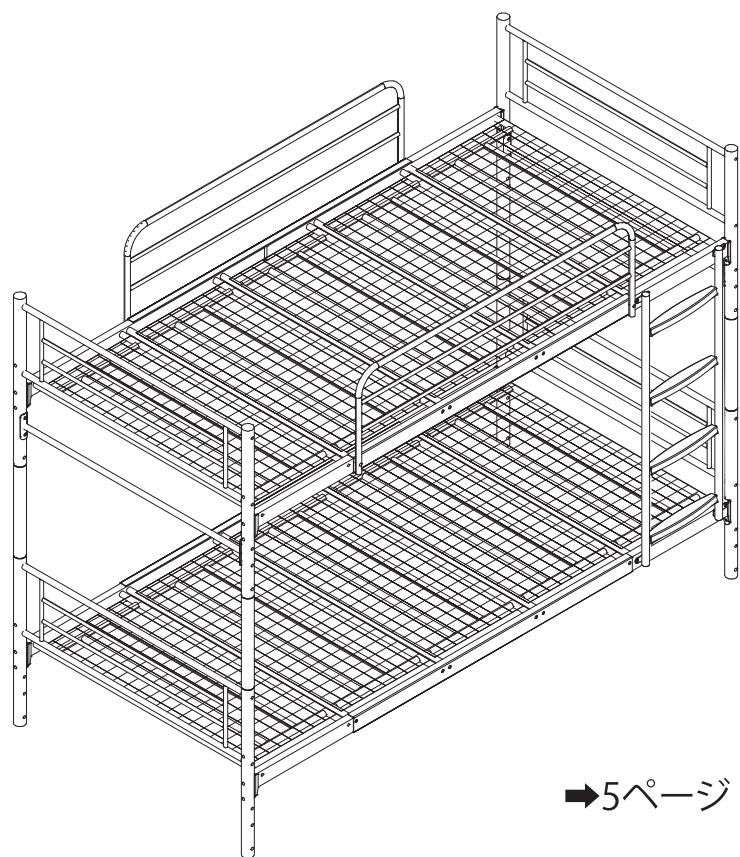
A. 大ボルト×36 (M8×55mm) (予備×2)	B. 小ボルト×12 (M8×30mm) (予備×2)	C. 中ボルト×32 (M8×45mm) (予備×2)	D. ナット×8 (M8mm) (予備×1)	E. ボルト×4 (M8×70mm)		
						
F. 留めネジ×8 (予備×1)	G. 平ワッシャー×32	H. 曲ワッシャー×50 (予備×2)	I. ボルト受け×14 (予備×2)	J. 脚力バー×16 (予備×2)		
						
K. ワッシャー×82 (予備×2)	L. 連結具×2	M. ボルト×2 (M8×85mm)	N. 連結バンド×2	O. ボルトカバー×4	P. 六角レンチ×2	Q. スパナ×1
						

※必ずご確認ください

完成図①

2段ベッド

5ページからのステップに沿って組み立ててください。

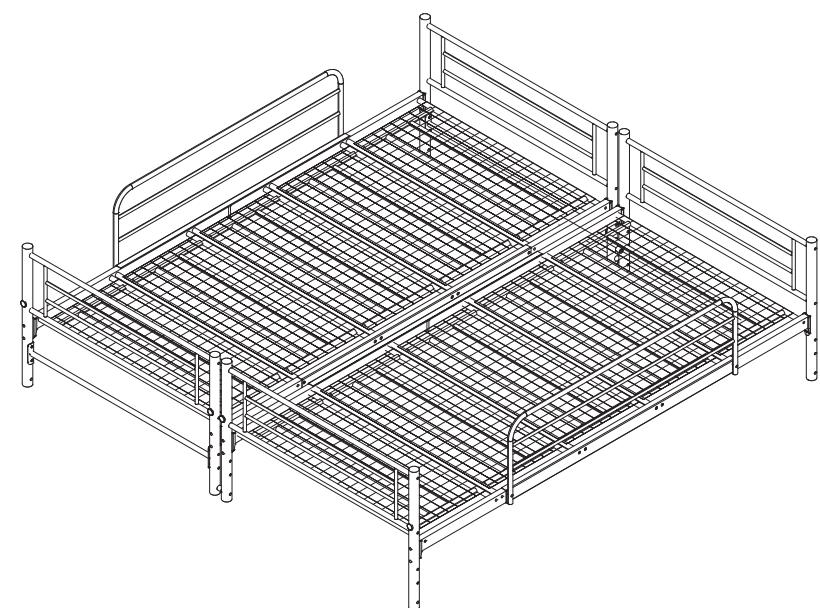


→5ページ

完成図②

並べる連結ベッド

8ページからのステップに沿って組み立ててください。



→8ページ

ステップ：1

使用金具



B. 小ボルト ×4



F. 留めねじ ×8



H. 曲ワッシャー ×4



J. 脚力バー ×8



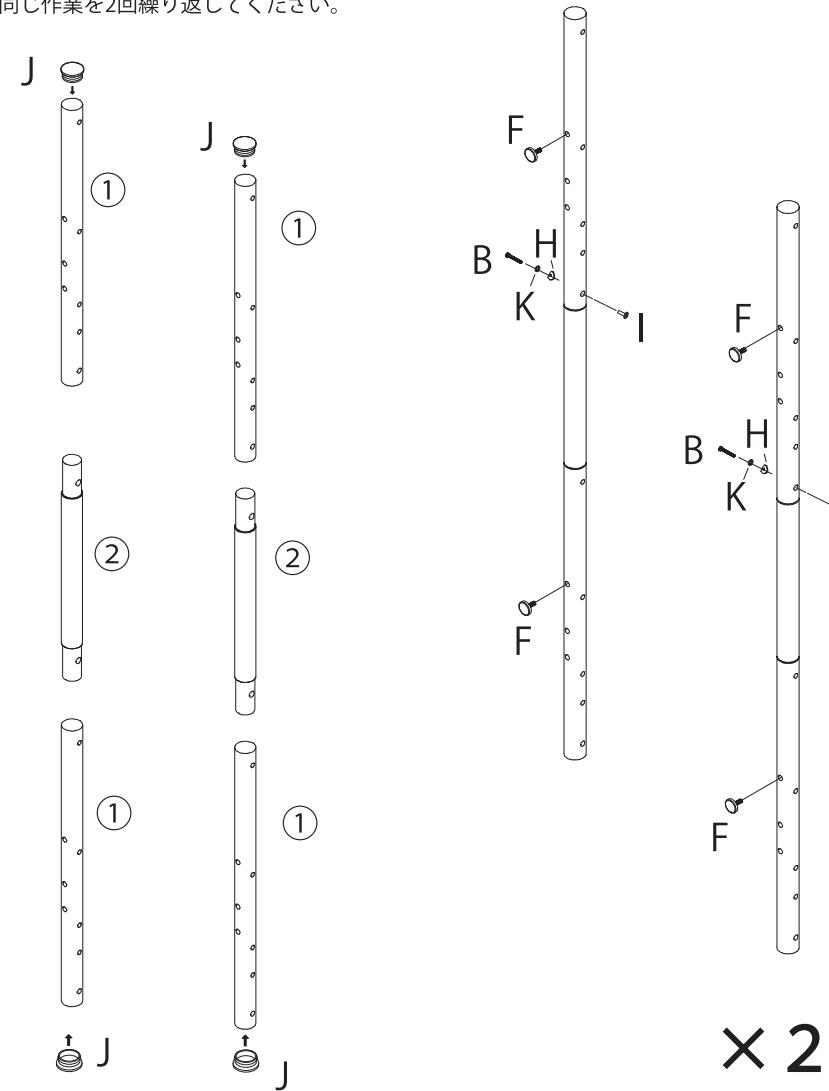
K. ワッシャー ×4



I. ボルト受け ×4

※2段ベッドの組み立て手順です。

①②を図のように組み合わせ、両端にJ.脚力バーを取り付けます。
次に、連結部分をB.小ボルト、I.ボルト受け、H.曲ワッシャー、K.ワッシャーを使用し取り付けます。
また、①に図のようにF.留めねじを取り付けます。
同じ作業を2回繰り返してください。



ステップ：2

使用金具



A. 大ボルト ×16



B. 小ボルト ×8



H. 曲ワッシャー ×24



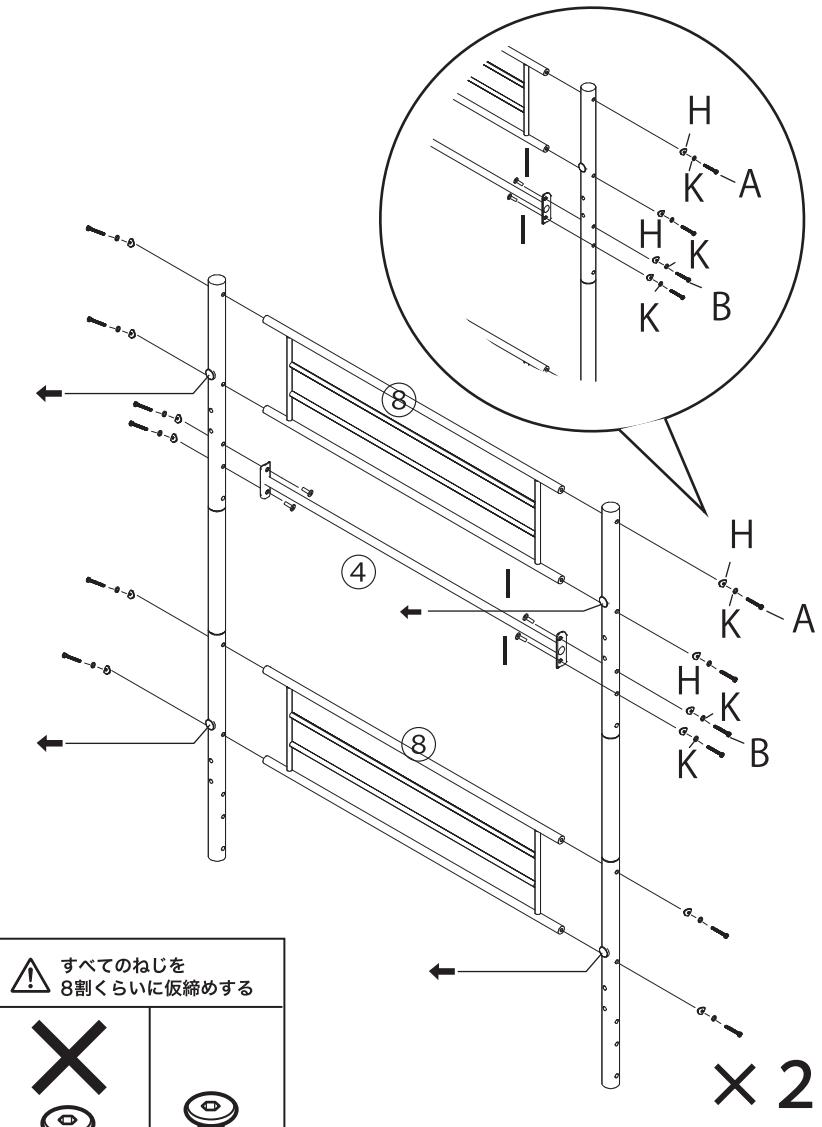
K. ワッシャー ×24



I. ボルト受け ×8

ステップ1で作成した脚に④をB.小ボルト、H.曲ワッシャー、K.ワッシャー、I.ボルト受けを使用し、図のように取り付けます。

また、⑧をA.大ボルト、H.曲ワッシャー、K.ワッシャーを使用し、取り付けます。
同じ作業を2回繰り返してください。



ステップ:3

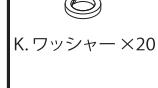
使用金具



C. 中ボルト ×16

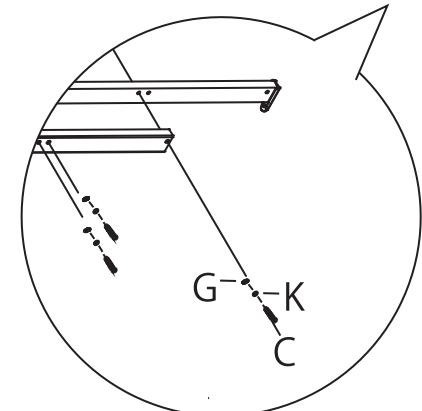
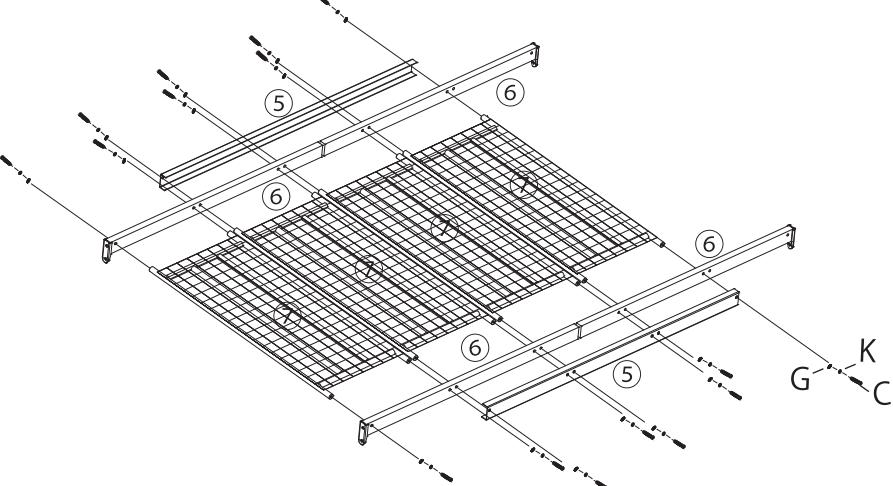


G. 平ワッシャー ×20



K. ワッシャー ×20

⑤⑥⑦を図のように、C.中ボルト、G.平ワッシャー、K.ワッシャーを使用し取り付けます。



△ すべてのねじを
8割くらいに仮締めする



ステップ:4

使用金具



C. 中ボルト ×12



G. 平ワッシャー ×12



K. ワッシャー ×16

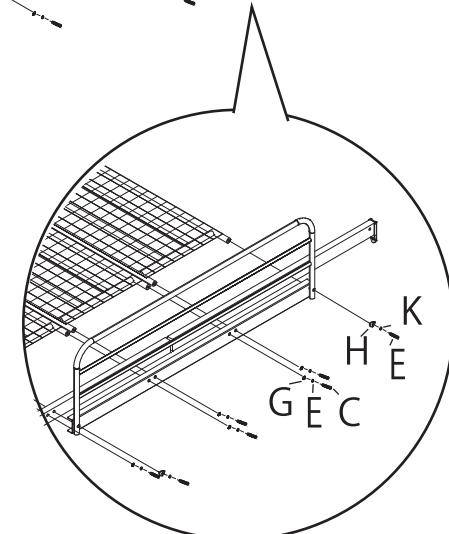
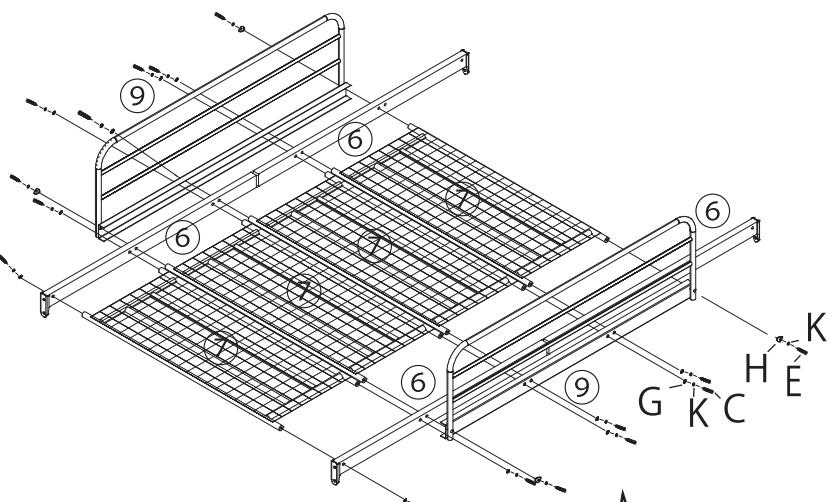


E. ボルト ×4



H. 曲ワッシャー ×4

⑤⑥⑦⑨をC.中ボルト、E.ボルト、G.平ワッシャー、H.曲ワッシャー、K.ワッシャーを使用し、取り付けます。



△ すべてのねじを
8割くらいに仮締めする



ステップ：5

使用金具



A. 大ボルト ×16



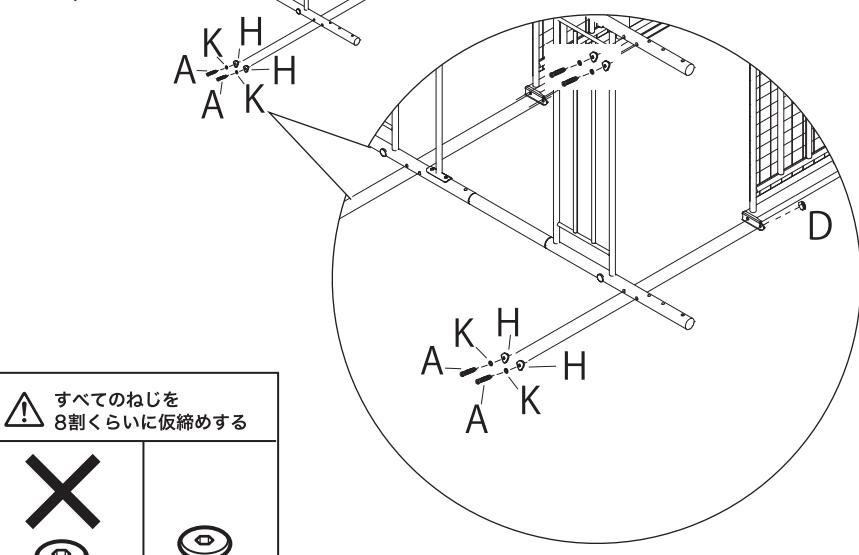
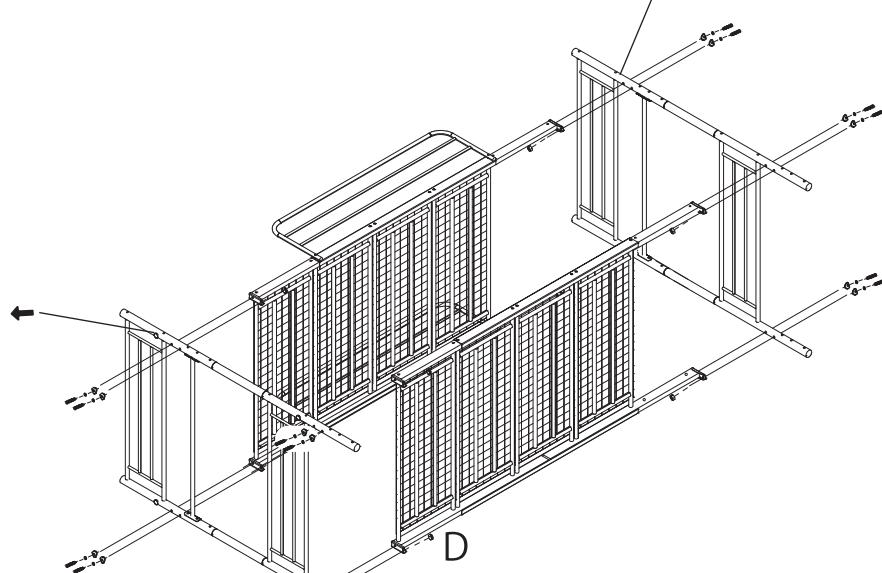
D. ナット ×8



H. 曲ワッシャー ×16



K. ワッシャー ×16



ステップ：6

使用金具



A. 大ボルト ×4



C. 中ボルト ×4



G. 平ワッシャー ×4

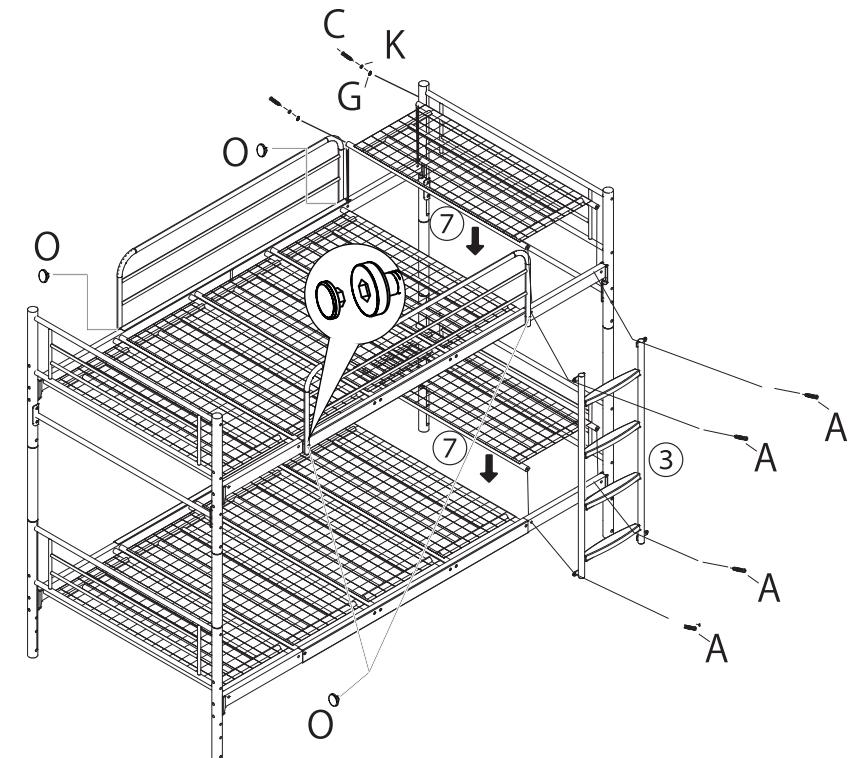


K. ワッシャー ×4



O. ボルトカバー ×4

ベッドに③⑦をC.中ボルト、G.平ワッシャー、K.ワッシャー、A.大ボルトを使用し、図のように取り付けます。次に、本体を壁寄せした際にボルトで壁が傷がつかないよう、壁に当たってしまう部分のボルトにO.ボルトカバーを取り付けます。(図の取り付け位置は例です。実際の使用状況に応じて取り付けてください。) 最後に全てのボルトをしっかりと締め付ければ完成です。



⚠️ すべてのねじを
しっかり締め付ける



ステップ：1

使用金具



A. 大ボルト ×4



B. 小ボルト ×4



H. 曲ワッシャー ×8



K. ワッシャー ×8



I. ボルト受け ×4



F. 留めねじ ×2



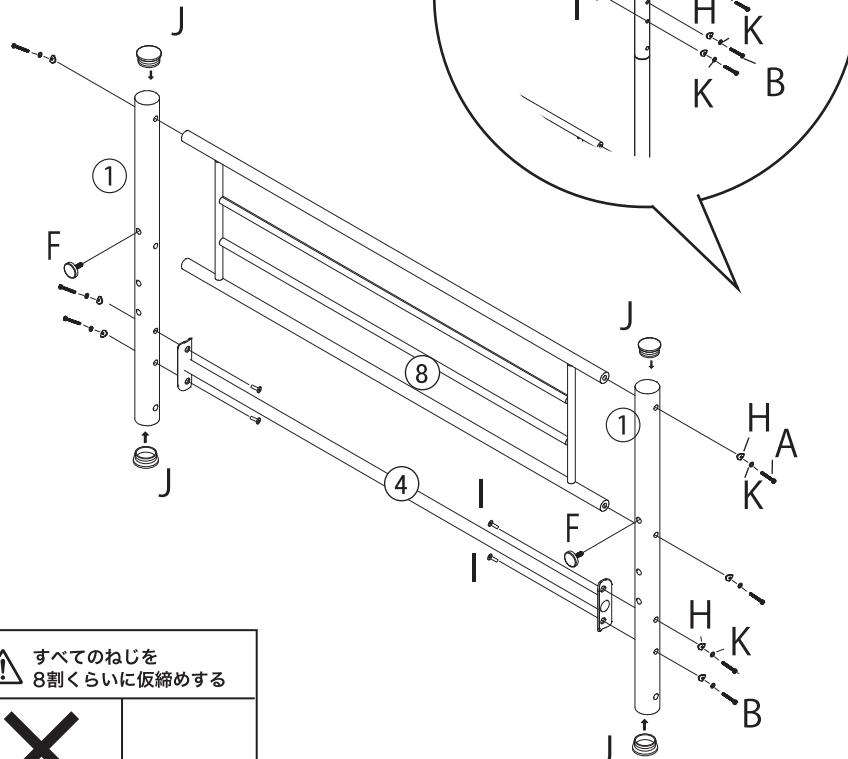
J. 脚力バー ×4

※並べる連結ベッドの組み立て手順です。

①の両端にJ.脚力バー、F.留めねじを取り付けます。

①に④をB.小ボルト、H.曲ワッシャー、K.ワッシャー、I.ボルト受けを使用し、図のように取り付けます。

また、①に⑧をA.大ボルト、H.曲ワッシャー、K.ワッシャーを使用し、取り付けます。



ステップ：2

使用金具



A. 大ボルト ×4



H. 曲ワッシャー ×4



K. ワッシャー ×4

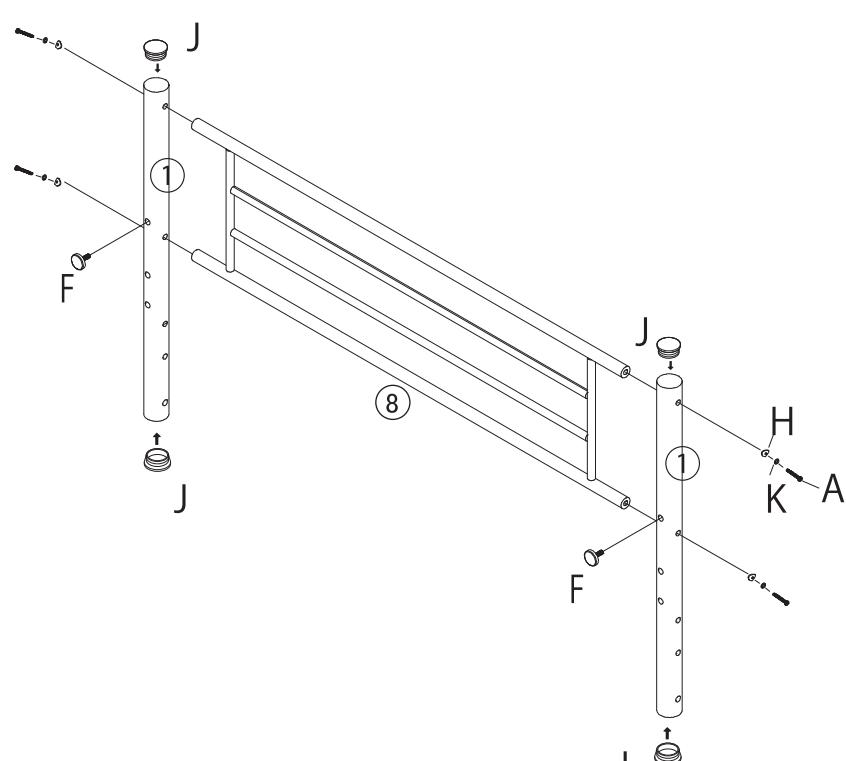


F. 留めねじ ×2



J. 脚力バー ×4

ステップ1と同様に、①の両端にJ.脚力バー、F.留めねじを取り付けます。
次に、①に⑧をA.大ボルト、H.曲ワッシャー、K.ワッシャーを使用し、取り付けます。



! すべてのねじを
8割くらいに仮締める



ステップ:3

使用金具



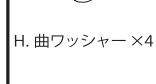
C. 中ボルト×18



G. 平ワッシャー×16



K. ワッシャー×20

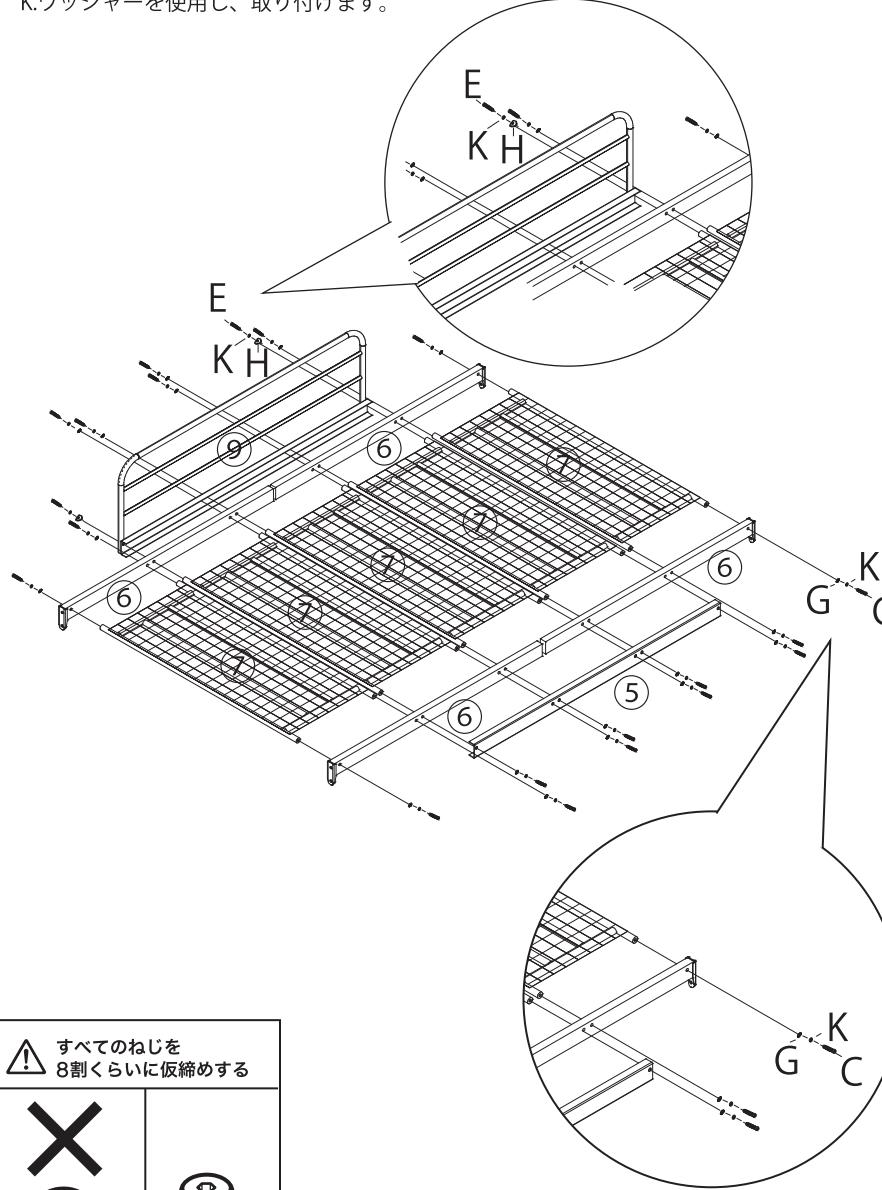


E. ボルト×2



H. 曲ワッシャー×4

⑤⑥⑦⑨を図のように、C.中ボルト、E.ボルト、G.平ワッシャー、H.曲ワッシャー、K.ワッシャーを使用し、取り付けます。



ステップ:4

使用金具



A. 大ボルト×8



D. ナット×4

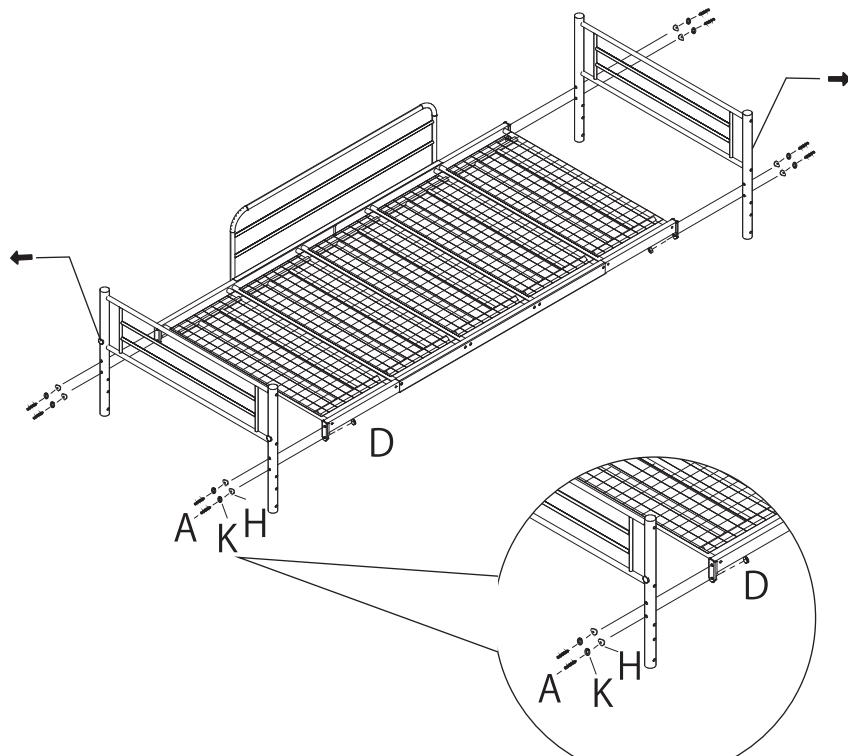


H. 曲ワッシャー×8



K. ワッシャー×8

脚とベッドを図のように、A.大ボルト、K.ワッシャー、H.曲ワッシャー、D.ナットを使用し取り付けます。



すべてのねじを
8割くらいに仮締めする



ステップ: 5

使用金具



A. 大ボルト × 8



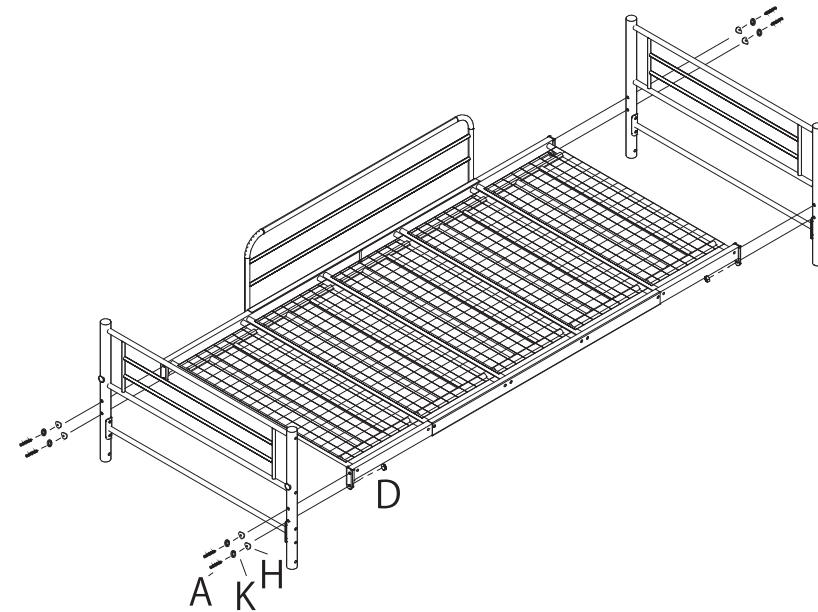
D. ナット × 4



H. 曲ワッシャー × 8



K. ワッシャー × 8



⚠ すべてのねじを
8割くらいに仮締めする



ステップ: 6

使用金具



H. 曲ワッシャー × 2



I. ボルト受け × 2



K. ワッシャー × 2



M. ボルト × 2



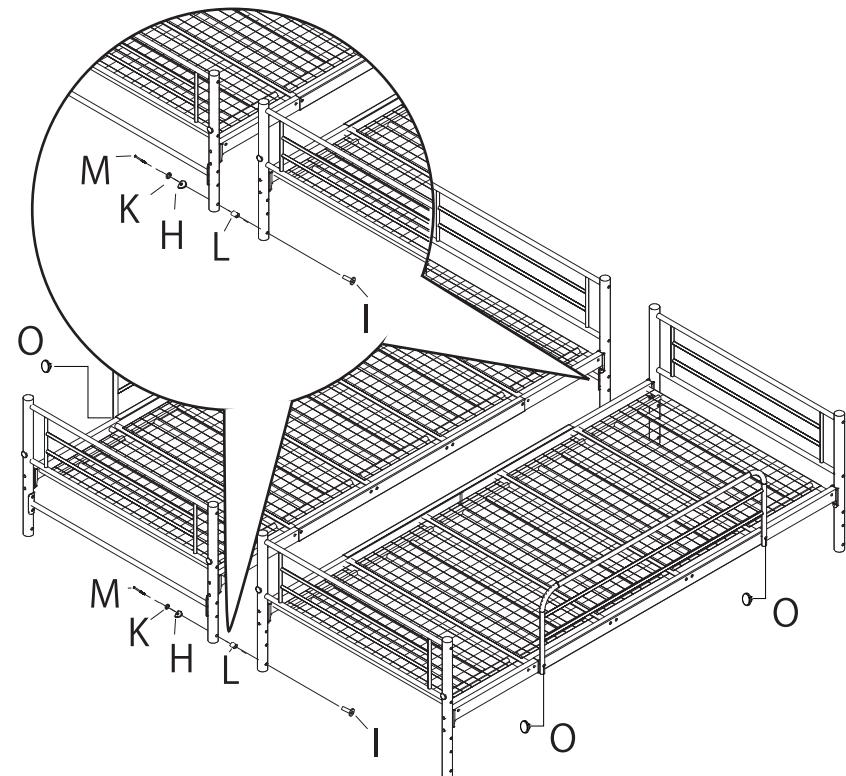
L. 連結具 × 2



O. ボルトカバー × 4

2台のベッドの間を、H.K.M.L.I.を使用し、つなぎ合せます。

次に、本体を壁寄せした際にボルトで壁が傷がつかないよう、壁に当たってしまう部分のボルトにO.ボルトカバーを取り付けます。
(図の取り付け位置は例です。実際の使用状況に応じて取り付けてください。)
最後に、すべてのボルトをしっかりと締め付けます。



⚠ すべてのねじを
しっかり締め付ける



ステップ：7

使用金具



N. 連結ベルト ×2

脚部分を、N.連結ベルトで固定すれば、完成です。

